様式第３５号（その１）

連結送水管標準仕様書

１．配　　管

(1)　配管の概要

配　管　型　式	□　乾　　式　　□　湿　　式
専用・兼用の別	□　専用とする。 □　他の消火設備（　　）と兼用する。
他の配管との識別方法	
防　食　措　置	
凍結防止措置	

□　主配管の内径は、（　　≧100）㎜とする。

□　立管の数は、（　　）とする。

□　高架水槽等により常時配管内を充水する場合は、その２次側配管に止水弁及び逆止弁を設ける。

□　送水口の２次側配管に逆止弁及び排水弁を設ける。

注　配管の材質については、別紙のとおりとする。

(2)　配管内の充水方法

□　高架水槽（　　㎥）に直結する。

□　高架水槽と接続した専用補助水槽（　　㎥）に直結する。

□　その他（　　）

２．送　水　口　（設置個数　　個）

□　双口形とし、連結送水管専用とする。

□　消防ポンプ自動車が容易に接近できる位置で、かつ、地盤面からの高さが（0.5≦　　≦1.0）ｍの箇所に設ける。

□　結合金具は、差込式とし、呼称 65 の受け口とする。

□　送水口には、その直近の見やすい箇所に連結送水管用送水口である旨を表示した標識を設ける。

注　送水口の材質については、別紙のとおりとする。

３．放水口及び放水用器具格納箱

放水口等の設置状況

放　水　口　設　置　階（階）						
放水口数	専用型（個）					
	併設型（個）					
	単口形（個）					
	双口形（個）					
放水用器具格納箱設置個数（個）						
放水用器具	ホース　本数（長さ20m）（本）					
	筒先数 噴霧型（個）					
	筒先数 棒状型（個）					
床面から放水口のホース接続口までの高さ（m）						
１の放水口までの最遠水平距離						
送水口から最も高い位置にある放水口までの高さ					m	
送水口から最遠の放水口までの管長					m	

備考１　「専用型」とは、放水口を専用格納箱に収納したものをいい、「併設型」とは、放水口を屋内消火栓箱又は放水用器具格納箱に収納したものをいう。

２　放水用器具の欄は、１の放水用器具格納箱を単位として記入する。

３　「噴霧型」とは、噴霧切替えノズル付きのものをいう。

４　放水口、ホース及び筒先の材質については、別紙のとおりとする。

(1)　放　水　口

□　放水口の結合金具は、差込式とし、呼称65の差し口とする。

□　放水口は、階段室、非常用エレベーターの乗降ロビー又は当該場所から５ｍ以内の廊下等で、かつ、消防隊が有効に消火活動を行うことができる位置に設ける。

□　屋上に放水試験用として、１の放水口（テストロ）を設ける。

□　放水口は、(□専用格納箱　□屋内消火栓箱　□放水用器具格納箱)に収納する。

□　放水口を収納した箱の扉に放水口である旨を表示した標識を設ける。

(2)　専用格納箱

□　厚さ（　　≧1.6）㎜の鋼板製とし、全面の大きさは、短辺（　　≧40）cm　長辺（　　≧50）cmとする。

□　専用格納箱の上部又はその扉の上端部に赤色の灯火（ □AC □DC　　V）を設ける。

□　赤色の灯火には、非常電源を附置する。（非常電源設備仕様書を添付する。）

(3)　放水用器具格納箱

□　厚さ（　　≧1.6）㎜の鋼板製とし、扉の表面積は（　　≧0.8）㎡とする。

□　１の直通階段について階数３以内ごとに、１の放水口から歩行距離５ｍ以内で消防隊が有効に消火活動を行うことができる位置に設ける。

□　放水用器具格納箱には、その見やすい箇所に放水用器具格納箱である旨を表示した標識を設ける。

□　放水用器具格納箱内には、ホース（　　）本及び筒先（　　）本を収納する。

４．添　付　図　書

□　付近見取図	□　建築物の配置図	□　立　面　図
□　平　面　図	□　断　面　図	□　受電系統図
□　配線系統図	□　配管系統図	□　配　管　図
□　配　線　図	□　機器構造図	□　標識板詳細図
□　送水口付近詳細図	□　放水口又は放水用器具格納箱詳細図	
□　非常電源設備仕様書	□　非常電源容量計算書	□　配管等の摩擦損失計算書
□　配管等の摩擦損失計算図		

５．そ　の　他

(1)　工事中において、設計書と異なる工事をしようとする場合は、工事管理者及び所管消防署の指示を受けて行うものとする。

(2)　工事竣工後、消防職員立会のうえ、所要の試験及び検査を受けるものとする。なお、完成検査時、検査の困難な部分については、あらかじめ、所管消防署と連絡をとり中間検査を受けるものとする。

様式第３５号（その４）　　別　紙

配　管　等　の　材　質　表（連結送水管用）

名　　称		構　　造	材　　質
管　　体			□ JIS G 3442　□ JIS G 3448 □ JIS G 3452　□ JIS G 3454 □ JIS G 3459　□
管継手	フランジ継手	ねじ込み式	□ JIS B 2220　□ JIS B 2239 □
		溶接式	□ JIS B 2220　□
	フランジ継手以外の継手	ねじ込み式	□ JIS B 2301　□ JIS B 2302 □ JIS B 2308 ※材料に G3214(SUS F 304 又は SUS F 316 に限る。)又は G5121(SCS13 又は SCS14 に限る。)を用いるもの □
		溶接式鋼管用	□ JIS B 2309　□ JIS B 2311 □ JIS B 2312　□ JIS B 2313 ※G 3468 を材料とするものを除く □
バルブ類		材質	□ JIS G 5101　□ JIS G 5501　□ JIS G 5502 □ JIS G 5705（黒心可鍛鋳鉄品に限る） □ JIS H 5120　□ JIS H 5121　□
			□ JIS B 2011　□ JIS B 2031 □ JIS B 2051　□
放水口	開　閉　式	左まわり開きのねじ式	□ 消火栓等開閉弁の基準に適合する認定品
	ホース接続口	呼称	□ 差込式結合金具規格合格品
送水口	結 合 金 具	呼称	□ 差込結合金具規格合格品
ホース	ホ　ー　ス	呼称 長さ　　m	□ 消防用規格合格品
	結 合 金 具	呼称	□ 差込式結合金具規格合格品
筒　先	プレーパイプの管体		□ JIS H 3100（銅及び銅合金の板及び条） □ JIS H 3300（銅及び銅合金継目無管）
	プレーパイプの結合金具	呼称	□ 差込式結合金具規格合格品
	ノ　ズ　ル	□ 棒 状 型 （口径　　㎜） □ 噴 霧 型	